

# 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／  
ブラジル・リアル・コース／  
米ドル・コース／通貨セレクト・コース

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	約10年間（2013年8月20日～2023年8月28日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	<p>イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」といいます。）の受益証券（円建）</p> <p>ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券（※1）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。  「日本円・コース」の場合……日本円・クラス  「豪ドル・コース」の場合……豪ドル・クラス  「ブラジル・リアル・コース」の場合……ブラジル・リアル・クラス  「米ドル・コース」の場合……米ドル・クラス  「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス</p>
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>イ. 計算期末の前営業日の基準価額（1万口当たり。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。</p> <p>ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当たり）を分配することをめざします。</p> <p>a. 10,500円以上11,000円未満の場合…300円  b. 11,000円以上11,500円未満の場合…350円  c. 11,500円以上12,000円未満の場合…400円  d. 12,000円以上12,500円未満の場合…450円  e. 12,500円以上の場合……………500円</p> <p>なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。</p>

## 運用報告書（全体版）

第30期（決算日 2021年3月1日）

第31期（決算日 2021年5月28日）

（作成対象期間 2020年12月1日～2021年5月28日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<5770>

お問い合わせ先（コールセンター）

<5771>

TEL 0120-106212

<5772>

（営業日の9:00～17:00）

<5773>

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5774>

## 日本円・コース

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
22期末(2019年2月28日)	10,127	0	7.4	16,964	4.1	—	95.5	381
23期末(2019年5月28日)	9,849	0	△ 2.7	17,169	1.2	—	94.9	328
24期末(2019年8月28日)	9,640	0	△ 2.1	17,430	1.5	—	95.4	311
25期末(2019年11月28日)	10,481	300	11.8	19,159	9.9	—	94.1	318
26期末(2020年2月28日)	9,862	0	△ 5.9	18,096	△ 5.5	—	93.7	275
27期末(2020年5月28日)	9,592	0	△ 2.7	18,445	1.9	—	98.0	261
28期末(2020年8月28日)	10,385	300	11.4	21,169	14.8	—	98.9	283
29期末(2020年11月30日)	11,320	400	12.9	22,103	4.4	—	98.0	285
30期末(2021年3月1日)	11,986	500	10.3	23,153	4.7	—	98.8	297
31期末(2021年5月28日)	12,996	500	12.6	25,521	10.2	—	98.8	315

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

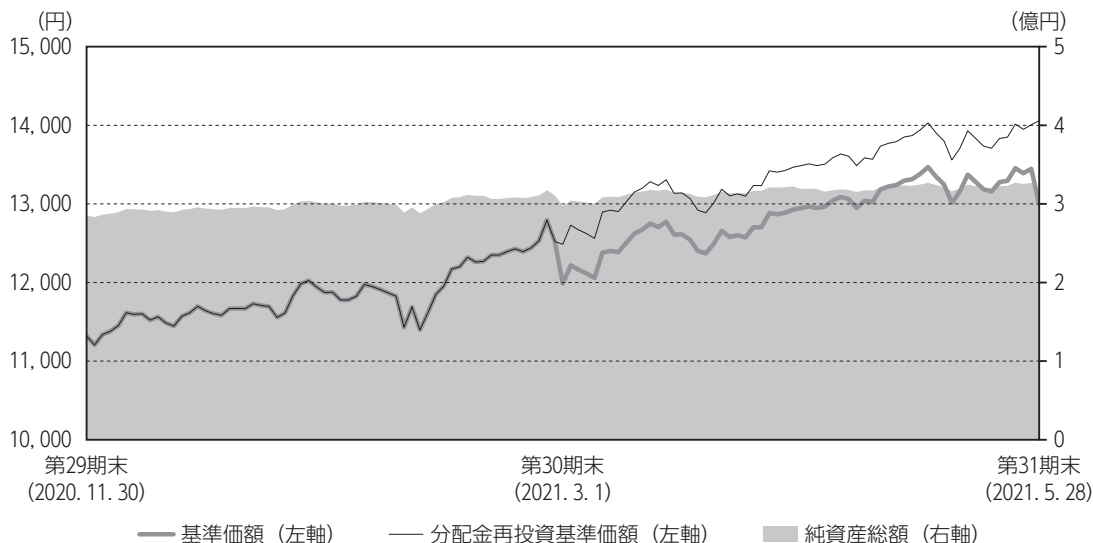
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第30期首：11,320円

第31期末：12,996円（既払分配金1,000円）

騰落率：24.2%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	%		
第30期	(期首) 2020年11月30日	11,320	—	22,103	—	—	98.0
	12月末	11,708	3.4	22,642	2.4	—	98.9
	2021年1月末	11,688	3.3	23,009	4.1	—	98.9
	2月末	12,521	10.6	23,264	5.2	—	94.8
	(期末) 2021年3月1日	12,486	10.3	23,153	4.7	—	98.8
第31期	(期首) 2021年3月1日	11,986	—	23,153	—	—	98.8
	3月末	12,601	5.1	24,049	3.9	—	98.8
	4月末	13,296	10.9	25,585	10.5	—	98.8
	(期末) 2021年5月28日	13,496	12.6	25,521	10.2	—	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

### ■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より上昇基調で推移しました。米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前の予想通りに当選確実となり、選挙の結果に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待が上昇要因となりました。2021年2月下旬から3月上旬にかけて金利上昇に伴い軟調な展開となる場面も散見されたものの、経済活動の正常化期待から持ち直し、その後は堅調に推移しました。

### ■短期金利市況

日銀は、金融緩和策を継続し、短期金利はマイナス圏で推移しました。  
米国では、政策金利の誘導目標レンジを0.00~0.25%で据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

## ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

## ■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。

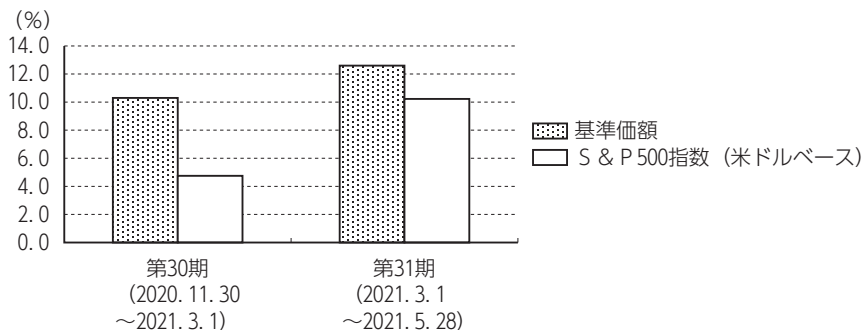
## ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項 目		第30期	第31期
		2020年12月1日 ~2021年3月1日	2021年3月2日 ~2021年5月28日
<b>当期分配金(税込み)</b>	<b>(円)</b>	<b>500</b>	<b>500</b>
	対基準価額比率 (%)	4.00	3.70
	当期の収益 (円)	500	500
	当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,170	3,176

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 19.75円	✓ 17.89円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 1,146.26	✓ 1,488.16
(c) 収益調整金	260.26	273.74
(d) 分配準備積立金	1,244.54	1,897.08
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,670.82	3,676.89
(f) 分配金	500.00	500.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,170.82	3,176.89

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

### ■ ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第30期～第31期 (2020. 12. 1～2021. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	75円	0.606%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,366円です。
(投 信 会 社)	(27)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	75	0.610	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

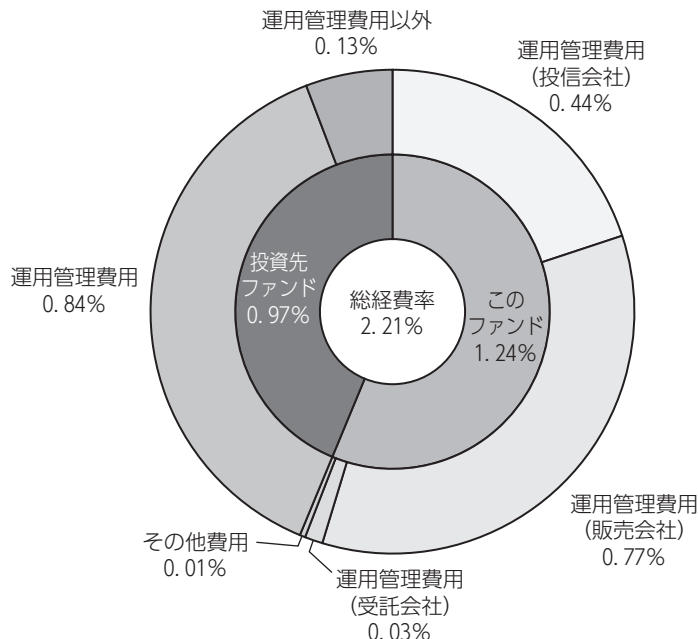
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.21%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.21%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.84%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

決算期	第30期～第31期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 26.11855	千円 4,952	千口 189.27366	千円 40,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

第30期				第31期			
銘柄	買付			売付			平均単価
	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	
US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 21.56508	千円 4,000	円 185	US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 189.27366	千円 40,000	円 211

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第31期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS	千口 1,383.96851	千円 311,976	% 98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第29期末	第31期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 300	千口 300	千円 300

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年5月28日現在

項目	第31期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 311,976	% 94.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	300	0.1
コール・ローン等、その他	16,658	5.1
投資信託財産総額	328,935	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年3月1日)、(2021年5月28日)現在

項 目	第30期末	第31期末
<b>(A) 資産</b>	<b>310,714,161円</b>	<b>328,935,873円</b>
コール・ローン等	16,668,611	16,658,381
投資信託受益証券(評価額)	293,744,977	311,976,949
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	300,573	300,543
<b>(B) 負債</b>	<b>13,334,256</b>	<b>13,110,926</b>
未払収益分配金	12,405,052	12,151,129
未払解約金	125	1,341
未払信託報酬	922,971	946,087
その他未払費用	6,108	12,369
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>297,379,905</b>	<b>315,824,947</b>
元本	248,101,055	243,022,593
次期繰越損益金	49,278,850	72,802,354
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>248,101,055口</b>	<b>243,022,593口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	11,986円	12,996円

\*第29期末における元本額は251,823,580円、当作成期間(第30期~第31期)中における追加設定元本額は2,887,257円、同解約元本額は11,688,244円です。

\*第31期末の計算口数当りの純資産額は12,996円です。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	490,067円	434,958円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	28,439,004	36,165,869
(c) 収益調整金	6,457,150	6,652,604
(d) 分配準備積立金	30,877,195	46,103,401
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	66,263,416	89,356,832
(f) 分配金	12,405,052	12,151,129
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	53,858,364	77,205,703
(h) 受益権総口数	248,101,055口	243,022,593口

■損益の状況

第30期 自 2020年12月1日 至 2021年3月1日

第31期 自 2021年3月2日 至 2021年5月28日

項 目	第30期	第31期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>505,775円</b>	<b>446,292円</b>
受取配当金	505,943	446,436
受取利息	10	2
支払利息	△ 178	△ 146
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>29,352,375</b>	<b>37,106,891</b>
売買益	29,813,037	37,783,836
売買損	△ 460,662	△ 676,945
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 929,079</b>	<b>△ 952,356</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>28,929,071</b>	<b>36,600,827</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>30,877,195</b>	<b>46,103,401</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>1,877,636</b>	<b>2,249,255</b>
(配当等相当額)	( 6,457,150)	( 6,652,604)
(売買損益相当額)	(△ 4,579,514)	(△ 4,403,349)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>61,683,902</b>	<b>84,953,483</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 12,405,052</b>	<b>△ 12,151,129</b>
次期繰越損益金(G+H)	49,278,850	72,802,354
追加信託差損益金	1,877,636	2,249,255
(配当等相当額)	( 6,457,150)	( 6,652,604)
(売買損益相当額)	(△ 4,579,514)	(△ 4,403,349)
分配準備積立金	47,401,214	70,553,099

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第30期	第31期
	500円	500円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

豪ドル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
22期末(2019年2月28日)	9,930	0	4.1	16,964	4.1	79.34	△ 3.5	—	99.0	249
23期末(2019年5月28日)	9,260	0	△ 6.7	17,169	1.2	75.88	△ 4.4	—	95.6	203
24期末(2019年8月28日)	8,601	0	△ 7.1	17,430	1.5	71.38	△ 5.9	—	98.5	144
25期末(2019年11月28日)	9,985	0	16.1	19,159	9.9	74.00	3.7	—	95.4	145
26期末(2020年2月28日)	9,160	0	△ 8.3	18,096	△ 5.5	71.94	△ 2.8	—	94.2	121
27期末(2020年5月28日)	8,612	0	△ 6.0	18,445	1.9	71.54	△ 0.6	—	99.0	114
28期末(2020年8月28日)	10,362	0	20.3	21,169	14.8	77.44	8.2	—	95.8	133
29期末(2020年11月30日)	11,261	400	12.5	22,103	4.4	76.91	△ 0.7	—	98.4	117
30期末(2021年3月1日)	12,793	500	18.0	23,153	4.7	82.49	7.3	—	98.8	125
31期末(2021年5月28日)	14,333	500	15.9	25,521	10.2	85.08	3.1	—	99.0	143

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

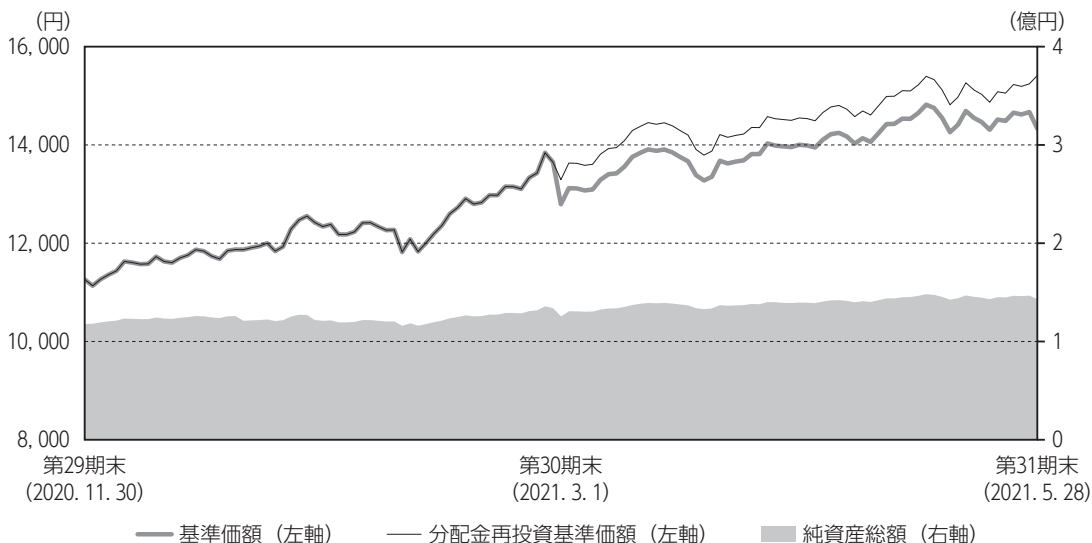
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第30期首：11,261円

第31期末：14,333円（既払分配金1,000円）

騰落率：36.9%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
第30期	(期首) 2020年11月30日	11,261	—	22,103	—	76.91	—	—	98.4
	12月末	11,941	6.0	22,642	2.4	78.84	2.5	—	98.7
	2021年1月末	12,082	7.3	23,009	4.1	80.08	4.1	—	98.7
	2月末	13,650	21.2	23,264	5.2	83.31	8.3	—	95.2
	(期末) 2021年3月1日	13,293	18.0	23,153	4.7	82.49	7.3	—	98.8
第31期	(期首) 2021年3月1日	12,793	—	23,153	—	82.49	—	—	98.8
	3月末	13,661	6.8	24,049	3.9	84.36	2.3	—	98.6
	4月末	14,537	13.6	25,585	10.5	84.75	2.7	—	99.1
	(期末) 2021年5月28日	14,833	15.9	25,521	10.2	85.08	3.1	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より上昇基調で推移しました。米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前の予想通りに当選確実となり、選挙の結果に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待が上昇要因となりました。2021年2月下旬から3月上旬にかけて金利上昇に伴い軟調な展開となる場面も散見されたものの、経済活動の正常化期待から持ち直し、その後は堅調に推移しました。

### ■ 為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、米国の追加経済対策や新型コロナウイルスワクチンの普及による経済活動の正常化期待などから市場のリスク選好姿勢が強まり、上昇しました。また、資源価格の上昇も、豪ドルの上昇要因となりました。

### ■ 短期金利市況

RBA（オーストラリア準備銀行）は、政策金利を0.10%で据え置きました。米国では、政策金利の誘導目標レンジを0.00~0.25%で据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して

割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

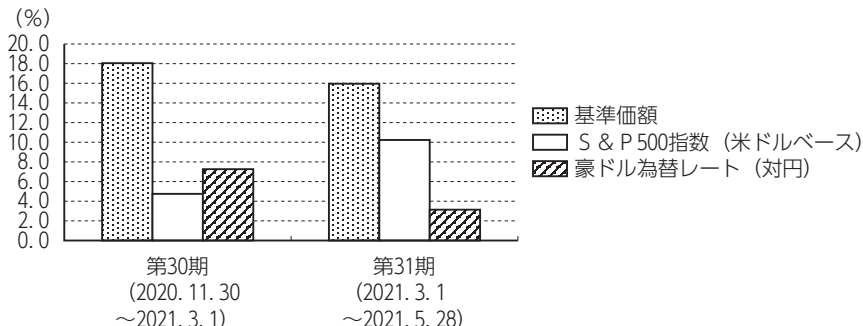
### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項 目		第30期	第31期
		2020年12月1日 ~2021年3月1日	2021年3月2日 ~2021年5月28日
<b>当期分配金(税込み)</b>	<b>(円)</b>	<b>500</b>	<b>500</b>
	対基準価額比率 (%)	3.76	3.37
	当期の収益 (円)	500	500
	当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,185	4,714

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 22.09円	✓ 21.95円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 2,008.66	✓ 2,006.36
(c) 収益調整金	487.95	554.05
(d) 分配準備積立金	1,166.99	2,631.65
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,685.71	5,214.03
(f) 分配金	500.00	500.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,185.71	4,714.03

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第30期～第31期 (2020. 12. 1～2021. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	80円	0.606%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,119円です。
(投 信 会 社)	(28)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(49)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	80	0.610	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

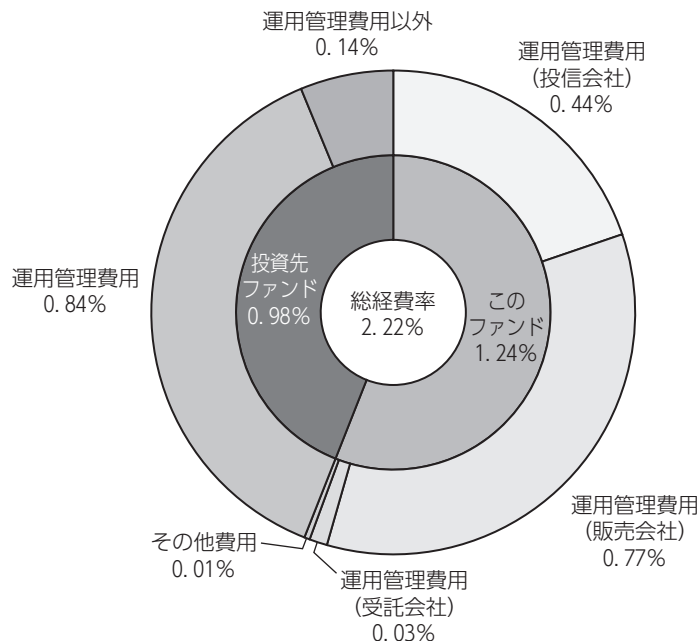
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.22%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.22%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.84%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

決算期	第30期～第31期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 28,06784	千円 4,445	千口 118,88165	千円 20,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

第30期				第31期			
銘柄	買付			売付			
	□数	金額	平均単価	□数	金額	平均単価	
US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 25,59163	千円 4,000	円 156	千口 118,88165	千円 20,000	円 168	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第31期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS	千口 721,99526	千円 141,750	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第29期末	第31期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 200	千口 200	千円 201

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年5月28日現在

項目	第31期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 141,750	% 95.3
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	201	0.1
コール・ローン等、その他	6,718	4.6
投資信託財産総額	148,670	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年3月1日)、(2021年5月28日)現在

項 目	第30期末	第31期末
<b>(A) 資産</b>	<b>130,814,896円</b>	<b>148,670,702円</b>
コール・ローン等	6,625,153	6,718,888
投資信託受益証券(評価額)	123,988,682	141,750,773
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	201,061	201,041
<b>(B) 負債</b>	<b>5,290,624</b>	<b>5,421,379</b>
未払収益分配金	4,905,992	4,997,322
未払解約金	—	1,317
未払信託報酬	382,129	417,497
その他未払費用	2,503	5,243
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>125,524,272</b>	<b>143,249,323</b>
元本	98,119,856	99,946,446
次期繰越損益金	27,404,416	43,302,877
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>98,119,856口</b>	<b>99,946,446口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	12,793円	14,333円

\*第29期末における元本額は104,576,163円、当作成期間(第30期~第31期)中における追加設定元本額は4,007,037円、同解約元本額は8,636,754円です。

\*第31期末の計算口数当りの純資産額は14,333円です。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	216,801円	219,437円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	19,709,012	20,052,894
(c) 収益調整金	4,787,807	5,537,627
(d) 分配準備積立金	11,450,558	26,302,462
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	36,164,178	52,112,420
(f) 分配金	4,905,992	4,997,322
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	31,258,186	47,115,098
(h) 受益権総口数	98,119,856口	99,946,446口

■損益の状況

第30期 自 2020年12月1日 至 2021年3月1日

第31期 自 2021年3月2日 至 2021年5月28日

項 目	第30期	第31期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>220,994円</b>	<b>223,977円</b>
受取配当金	221,042	224,008
受取利息	4	—
支払利息	△ 52	△ 31
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>20,089,451</b>	<b>20,468,595</b>
売買益	20,812,789	20,538,082
売買損	△ 723,338	△ 69,487
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 384,632</b>	<b>△ 420,241</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>19,925,813</b>	<b>20,272,331</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>11,450,558</b>	<b>26,302,462</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>934,037</b>	<b>1,725,406</b>
(配当等相当額)	( 4,787,807)	( 5,537,627)
(売買損益相当額)	(△ 3,853,770)	(△ 3,812,221)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>32,310,408</b>	<b>48,300,199</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 4,905,992</b>	<b>△ 4,997,322</b>
次期繰越損益金(G+H)	27,404,416	43,302,877
追加信託差損益金	934,037	1,725,406
(配当等相当額)	( 4,787,807)	( 5,537,627)
(売買損益相当額)	(△ 3,853,770)	(△ 3,812,221)
分配準備積立金	26,470,379	41,577,471

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。



収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第30期	第31期
	500円	500円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ブラジル・リアル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
22期末(2019年2月28日)	9,326	50	10.1	16,964	4.1	29.72	1.3	—	97.7	323
23期末(2019年5月28日)	8,322	50	△10.2	17,169	1.2	27.11	△8.8	—	97.4	276
24期末(2019年8月28日)	7,711	40	△6.9	17,430	1.5	25.59	△5.6	—	97.1	236
25期末(2019年11月28日)	8,788	40	14.5	19,159	9.9	25.68	0.4	—	98.6	292
26期末(2020年2月28日)	7,926	20	△9.6	18,096	△5.5	24.36	△5.1	—	98.5	231
27期末(2020年5月28日)	6,278	30	△20.4	18,445	1.9	20.46	△16.0	—	98.4	175
28期末(2020年8月28日)	6,554	10	4.6	21,169	14.8	19.15	△6.4	—	98.9	165
29期末(2020年11月30日)	7,542	0	15.1	22,103	4.4	19.46	1.6	—	98.9	184
30期末(2021年3月1日)	8,158	0	8.2	23,153	4.7	19.01	△2.3	—	98.9	188
31期末(2021年5月28日)	10,010	30	23.1	25,521	10.2	20.9861	10.4	—	97.4	220

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

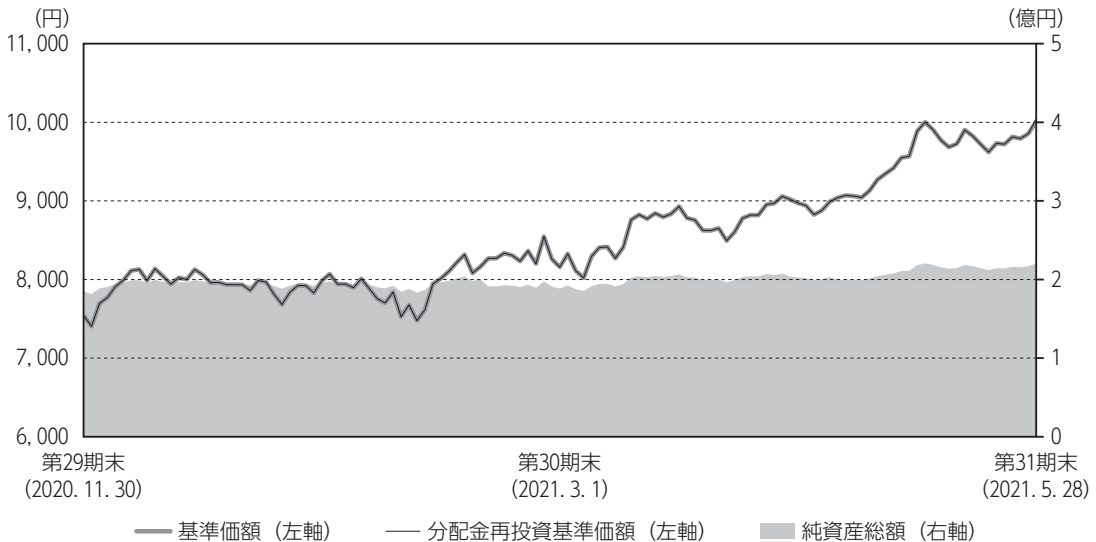
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第30期首：7,542円

第31期末：10,010円（既払分配金30円）

騰落率：33.1%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことやブラジル・リアルが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
第30期	(期首) 2020年11月30日	7,542	—	22,103	—	19.46	—	—	98.9
	12月末	7,988	5.9	22,642	2.4	19.90	2.3	—	99.1
	2021年1月末	7,677	1.8	23,009	4.1	19.20	△ 1.3	—	99.2
	2月末	8,259	9.5	23,264	5.2	19.24	△ 1.1	—	99.0
	(期末) 2021年3月1日	8,158	8.2	23,153	4.7	19.01	△ 2.3	—	98.9
第31期	(期首) 2021年3月1日	8,158	—	23,153	—	19.01	—	—	98.9
	3月末	8,605	5.5	24,049	3.9	19.16	0.8	—	99.1
	4月末	9,549	17.1	25,585	10.5	20.4072	7.3	—	99.1
	(期末) 2021年5月28日	10,040	23.1	25,521	10.2	20.9861	10.4	—	97.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より上昇基調で推移しました。米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前の予想通りに当選確実となり、選挙の結果に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待が上昇要因となりました。2021年2月下旬から3月上旬にかけて金利上昇に伴い軟調な展開となる場面も散見されたものの、経済活動の正常化期待から持ち直し、その後は堅調に推移しました。

### ■ 為替相場

ブラジル・リアルは対円で上昇しました。

ブラジル・リアルの対円相場は、当作成期首から上昇して始まりましたが、ブラジル国内での新型コロナウイルスの感染再拡大や財政悪化懸念などにより、2020年12月中旬から2021年3月初旬にかけては売られる展開となりました。3月中旬以降は、ブラジル中央銀行による政策金利引き上げや資源価格の上昇が好感されたことなどから、ブラジル・リアルは上昇しました。

### ■ 短期金利市況

ブラジル中央銀行は2021年3月以降利上げを実施し、ブラジルの短期金利は上昇基調となりました。

米国では、政策金利の誘導目標レンジを0.00~0.25%で据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) : ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

### ■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2020.12.1 ~ 2021.5.28)

### ■ 当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)

US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品)、CBRE GROUP (不動産)などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を行いました。

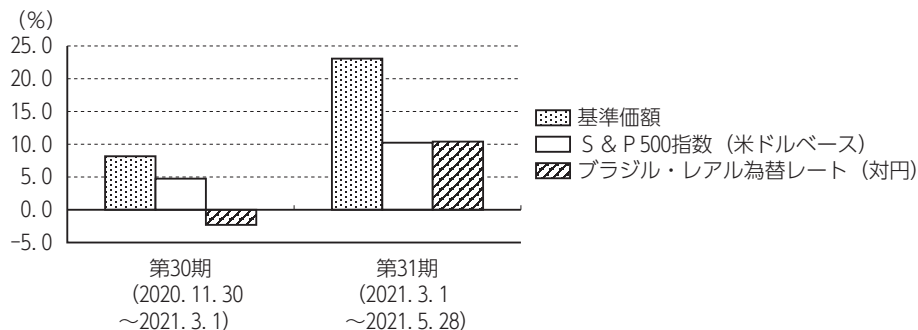
### ■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。なお、第30期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第30期 2020年12月1日 ~2021年3月1日		第31期 2021年3月2日 ~2021年5月28日	
<b>当期分配金(税込み)</b>	<b>(円) —</b>		<b>30</b>	
対基準価額比率	(%)		—	
対基準価額比率	(%)		0.30	
当期の収益	(円)		—	
当期の収益	(円)		30	
当期の収益以外	(円)		—	
翌期繰越分配対象額	(円)		—	
翌期繰越分配対象額	(円)		3,178	
翌期繰越分配対象額	(円)		3,217	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第30期		第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	35.66円	✓	68.67円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00		0.00
(c) 収益調整金	2,087.84		2,088.83
(d) 分配準備積立金	1,055.17		1,089.85
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,178.68		3,247.36
(f) 分配金	0.00		30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,178.68		3,217.36

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

### ■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第30期～第31期 (2020. 12. 1～2021. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0.606%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,533円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	52	0.610	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

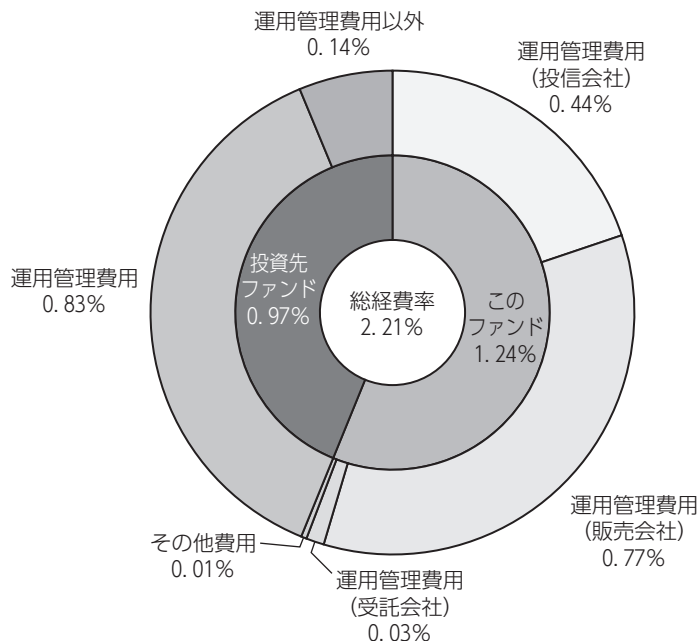
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.21%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.21%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.83%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■売買および取引の状況

### 投資信託受益証券

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

決算期	第30期～第31期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 40.08337	千円 3,396	千口 337.21007	千円 28,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 投資信託受益証券

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

第30期				～	第31期			
買付		売付		買付		売付		
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価	
US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口 12.80459	千円 1,000	円 78	US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口 337.21007	千円 28,000	円 83	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第31期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS	千口 2,257.83968	千円 214,634	% 97.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託残高

種類	第31期末		
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 300	千口 300	千円 300

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2021年5月28日現在

項目	第31期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 214,634	% 96.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	300	0.1
コール・ローン等、その他	6,764	3.1
投資信託財産総額	221,700	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年3月1日)、(2021年5月28日)現在

項 目	第30期末	第31期末
<b>(A) 資産</b>	<b>189,222,201円</b>	<b>224,700,075円</b>
コール・ローン等	2,284,674	3,764,777
投資信託受益証券(評価額)	186,636,954	214,634,756
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	300,573	300,543
未収入金	—	5,999,999
<b>(B) 負債</b>	<b>603,083</b>	<b>4,280,705</b>
未払金	—	3,000,000
未払収益分配金	—	660,621
未払解約金	—	392
未払信託報酬	599,133	611,706
その他未払費用	3,950	7,986
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>188,619,118</b>	<b>220,419,370</b>
元本	231,198,038	220,207,287
次期繰越損益金	△ 42,578,920	212,083
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>231,198,038口</b>	<b>220,207,287口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	8,158円	10,010円

\* 第29期末における元本額は245,189,506円、当作成期間(第30期~第31期)中における追加設定元本額は293,257円、同解約元本額は25,275,476円です。

\* 第31期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

第30期 自 2020年12月1日 至 2021年3月1日  
第31期 自 2021年3月2日 至 2021年5月28日

項 目	第30期	第31期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>859,472円</b>	<b>1,534,721円</b>
受取配当金	859,531	1,534,772
受取利息	4	1
支払利息	△ 63	△ 52
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>13,979,323</b>	<b>40,480,762</b>
売買益	14,818,787	41,439,170
売買損	△ 839,464	△ 958,408
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 603,083</b>	<b>△ 615,746</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>14,235,712</b>	<b>41,399,737</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 56,401,555</b>	<b>△ 40,125,031</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 413,077</b>	<b>△ 402,002</b>
(配当等相当額)	( 48,270,511)	( 45,997,688)
(売買損益相当額)	(△ 48,683,588)	(△ 46,399,690)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 42,578,920</b>	<b>△ 872,704</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>—</b>	<b>△ 660,621</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 42,578,920	212,083
追加信託差損益金	△ 413,077	△ 402,002
(配当等相当額)	( 48,270,511)	( 45,997,688)
(売買損益相当額)	(△ 48,683,588)	(△ 46,399,690)
分配準備積立金	25,220,016	24,851,004
繰越損益金	△ 67,385,859	△ 24,236,919

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	824,546円	1,512,245円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	48,270,511	45,997,688
(d) 分配準備積立金	24,395,470	23,999,380
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	73,490,527	71,509,313
(f) 分配金	0	660,621
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	73,490,527	70,848,692
(h) 受益権総口数	231,198,038口	220,207,287口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	第31期
	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

米ドル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
22期末(2019年2月28日)	10,471	0	5.7	19,249	1.4	—	95.7	4,100
23期末(2019年5月28日)	10,108	0	△ 3.5	19,253	0.0	—	95.3	3,480
24期末(2019年8月28日)	9,646	0	△ 4.6	18,861	△ 2.0	—	95.9	3,091
25期末(2019年11月28日)	10,852	350	16.1	21,449	13.7	—	98.1	3,230
26期末(2020年2月28日)	10,008	300	△ 5.0	20,267	△ 5.5	—	97.1	2,799
27期末(2020年5月28日)	9,612	0	△ 4.0	20,372	0.5	—	99.0	2,605
28期末(2020年8月28日)	10,306	300	10.3	23,108	13.4	—	99.0	2,665
29期末(2020年11月30日)	11,064	350	10.8	23,501	1.7	—	98.3	2,868
30期末(2021年3月1日)	12,023	500	13.2	25,234	7.4	—	99.1	2,941
31期末(2021年5月28日)	13,462	500	16.1	28,723	13.8	—	99.0	3,110

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(円換算)は、S & P 500指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

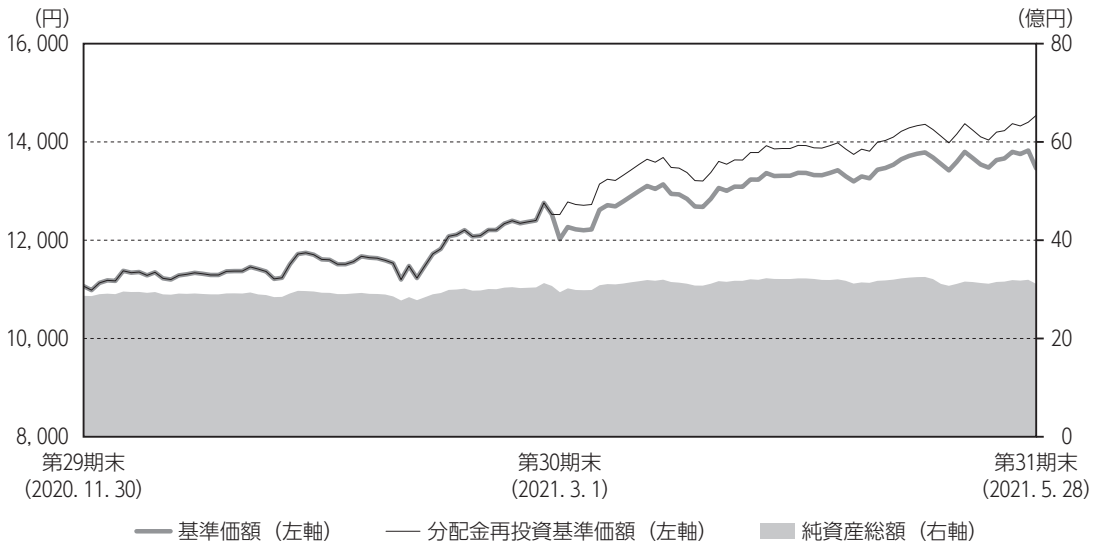
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第30期首：11,064円

第31期末：13,462円（既払分配金1,000円）

騰落率：31.4%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことや米ドルが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	%		
第30期	(期首) 2020年11月30日	11,064	—	23,501	—	—	98.3
	12月末	11,413	3.2	23,984	2.1	—	99.0
	2021年1月末	11,474	3.7	24,603	4.7	—	99.0
	2月末	12,526	13.2	25,297	7.6	—	95.0
	(期末) 2021年3月1日	12,523	13.2	25,234	7.4	—	99.1
第31期	(期首) 2021年3月1日	12,023	—	25,234	—	—	99.1
	3月末	13,091	8.9	27,248	8.0	—	99.4
	4月末	13,649	13.5	28,523	13.0	—	99.1
	(期末) 2021年5月28日	13,962	16.1	28,723	13.8	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

### ■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より上昇基調で推移しました。米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前の予想通りに当選確実となり、選挙の結果に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待が上昇要因となりました。2021年2月下旬から3月上旬にかけて金利上昇に伴い軟調な展開となる場面も散見されたものの、経済活動の正常化期待から持ち直し、その後は堅調に推移しました。

### ■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首から2020年12月末にかけて、米中関係の動向や追加経済対策をめぐる不透明感などが米ドル安要因となり、円高米ドル安基調で推移しました。2021年に入ると、米国において民主党が大統領府および連邦議会上下両院を制したことや新型コロナウイルスワクチンの実用化などから、市場のリスク選好姿勢が強まり、円安米ドル高となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)

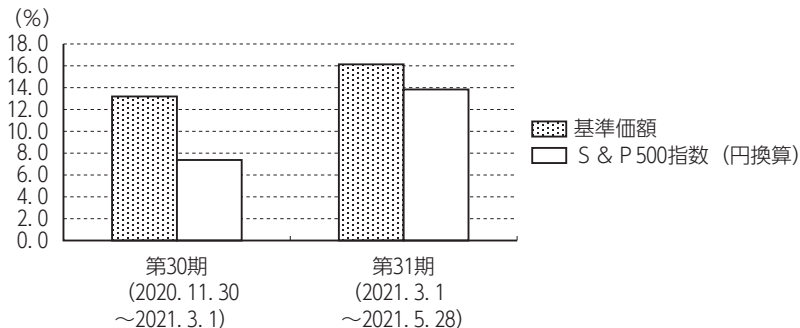
US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品)、CBRE GROUP (不動産)などを高位で組み入れました。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項 目		第30期	第31期
		2020年12月1日 ~2021年3月1日	2021年3月2日 ~2021年5月28日
<b>当期分配金(税込み)</b>	<b>(円)</b>	<b>500</b>	<b>500</b>
	対基準価額比率 (%)	3.99	3.58
	当期の収益 (円)	500	500
	当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,153	3,574

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 24.34円	✓ 22.65円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 1,434.04	✓ 1,897.90
(c) 収益調整金	442.96	473.91
(d) 分配準備積立金	752.11	1,679.71
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,653.46	4,074.18
(f) 分配金	500.00	500.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,153.46	3,574.18

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第30期～第31期 (2020. 12. 1～2021. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	75円	0.606%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,426円です。
(投 信 会 社)	(27)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	76	0.610	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

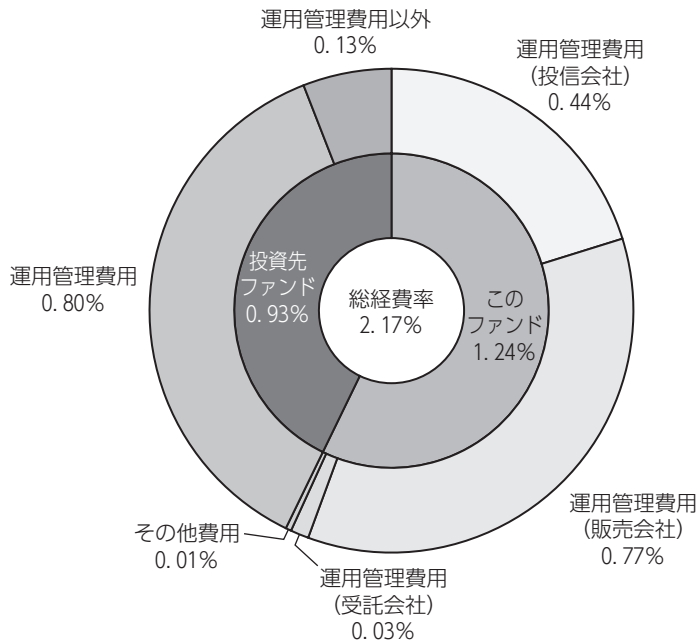
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.17%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.17%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.80%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

決算期	第30期～第31期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 246,5851	千円 53,476	千口 2,706,70384	千円 631,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

第30期				第31期			
銘柄	買付			売付			平均単価
	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	
US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	千口 198,01939	千円 42,000	円 212	US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	千口 2,706,70384	千円 631,000	円 233

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第31期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS	千口 11,814,47937	千円 3,079,940	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第29期末	第31期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 1,999	千口 1,999	千円 2,000

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年5月28日現在

項目	第31期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 3,079,940	% 95.2
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	2,000	0.1
コール・ローン等、その他	153,787	4.7
投資信託財産総額	3,235,728	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年3月1日)、(2021年5月28日)現在

項 目	第30期末	第31期末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,078,199,692円</b>	<b>3,235,728,788円</b>
コール・ローン等	160,045,395	153,787,557
投資信託受益証券(評価額)	2,916,153,121	3,079,940,255
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	2,001,176	2,000,976
<b>(B) 負債</b>	<b>136,905,517</b>	<b>125,075,182</b>
未払収益分配金	122,318,791	115,538,273
未払解約金	5,469,120	1,932
未払信託報酬	9,057,271	9,411,943
その他未払費用	60,335	123,034
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,941,294,175</b>	<b>3,110,653,606</b>
元本	2,446,375,833	2,310,765,463
次期繰越損益金	494,918,342	799,888,143
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,446,375,833口</b>	<b>2,310,765,463口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	12,023円	13,462円

\*第29期末における元本額は2,592,341,644円、当作成期間(第30期~第31期)中における追加設定元本額は58,751,633円、同解約元本額は340,327,814円です。  
\*第31期末の計算口数当りの純資産額は13,462円です。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,954,570円	5,236,041円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	350,821,016	438,561,145
(c) 収益調整金	108,365,641	109,510,002
(d) 分配準備積立金	183,995,717	388,142,471
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	649,136,944	941,449,659
(f) 分配金	122,318,791	115,538,273
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	526,818,153	825,911,386
(h) 受益権総口数	2,446,375,833口	2,310,765,463口

■損益の状況

第30期 自 2020年12月1日 至 2021年3月1日

第31期 自 2021年3月2日 至 2021年5月28日

項 目	第30期	第31期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>6,106,937円</b>	<b>5,347,920円</b>
受取配当金	6,108,724	5,349,522
受取利息	153	65
支払利息	△ 1,940	△ 1,667
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>359,786,255</b>	<b>447,923,957</b>
売買益	368,660,687	469,924,877
売買損	△ 8,874,432	△ 22,000,920
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 9,117,606</b>	<b>△ 9,474,691</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>356,775,586</b>	<b>443,797,186</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>183,995,717</b>	<b>388,142,471</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>76,465,830</b>	<b>83,486,759</b>
(配当等相当額)	( 108,365,641)	( 109,510,002)
(売買損益相当額)	(△ 31,899,811)	(△ 26,023,243)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>617,237,133</b>	<b>915,426,416</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 122,318,791</b>	<b>△ 115,538,273</b>
<b>次期繰越損益金(G+H)</b>	<b>494,918,342</b>	<b>799,888,143</b>
追加信託差損益金	76,465,830	83,486,759
(配当等相当額)	( 108,365,641)	( 109,510,002)
(売買損益相当額)	(△ 31,899,811)	(△ 26,023,243)
分配準備積立金	418,452,512	716,401,384

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。



収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第30期	第31期
	500円	500円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 通貨セレクト・コース

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
22期末(2019年2月28日)	円 8,302	円 140	% 9.6	16,964	% 4.1	% —	% 98.8	百万円 1,048
23期末(2019年5月28日)	7,827	150	△ 3.9	17,169	1.2	—	98.7	951
24期末(2019年8月28日)	7,405	140	△ 3.6	17,430	1.5	—	98.2	799
25期末(2019年11月28日)	8,689	120	19.0	19,159	9.9	—	98.8	896
26期末(2020年2月28日)	8,106	80	△ 5.8	18,096	△ 5.5	—	97.7	799
27期末(2020年5月28日)	7,091	120	△ 11.0	18,445	1.9	—	98.2	679
28期末(2020年8月28日)	7,737	80	10.2	21,169	14.8	—	99.0	733
29期末(2020年11月30日)	8,575	120	12.4	22,103	4.4	—	99.0	672
30期末(2021年3月1日)	9,635	300	15.9	23,153	4.7	—	98.9	720
31期末(2021年5月28日)	10,880	350	16.6	25,521	10.2	—	99.0	752

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

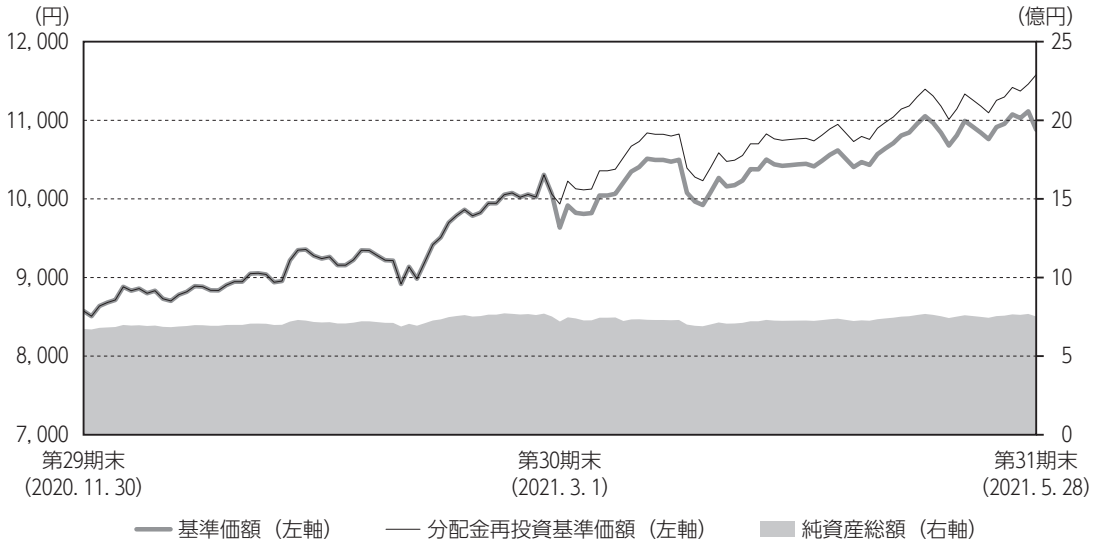
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第30期首：8,575円

第31期末：10,880円（既払分配金650円）

騰落率：35.0%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第30期	(期首) 2020年11月30日	8,575	—	22,103	—	—	99.0
	12月末	9,055	5.6	22,642	2.4	—	99.0
	2021年1月末	9,137	6.6	23,009	4.1	—	98.9
	2月末	10,060	17.3	23,264	5.2	—	95.9
	(期末) 2021年3月1日	9,935	15.9	23,153	4.7	—	98.9
第31期	(期首) 2021年3月1日	9,635	—	23,153	—	—	98.9
	3月末	10,175	5.6	24,049	3.9	—	99.1
	4月末	10,806	12.2	25,585	10.5	—	99.3
	(期末) 2021年5月28日	11,230	16.6	25,521	10.2	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より上昇基調で推移しました。米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前の予想通りに当選確実となり、選挙の結果に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待が上昇要因となりました。2021年2月下旬から3月上旬にかけて金利上昇に伴い軟調な展開となる場面も散見されたものの、経済活動の正常化期待から持ち直し、その後は堅調に推移しました。

### ■ 為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね上昇（円安）しました。

新型コロナウイルスに対する懸念が後退したことや、米国の追加経済対策への期待が高まったことなどから、市場のリスク選好姿勢が強まり、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。一方で、トルコ・リラは中央銀行総裁の解任などが懸念され、対円で下落（円高）しました。

当作成期における選定通貨の値動きは、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、ルーマニア・レイ、中国・人民元、南アフリカ・ランドは対円で上昇しました。一方で、トルコ・リラは対円で下落しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

### ■ 短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では政策金利の誘導目標レンジを0.00~0.25%で据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、

企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。

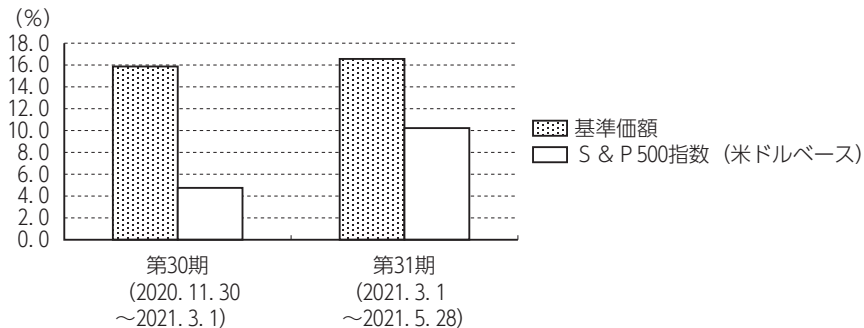
### ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第30期 2020年12月1日 ～2021年3月1日		第31期 2021年3月2日 ～2021年5月28日	
	<b>当期分配金（税込み）</b> (円)	<b>300</b>		<b>350</b>
対基準価額比率 (%)	3.02		3.12	
当期の収益 (円)	166		200	
当期の収益以外 (円)	133		149	
翌期繰越分配対象額 (円)	2,268		2,119	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第30期		第31期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	166.91円	✓	200.66円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00		0.00
(c) 収益調整金		260.45		275.60
(d) 分配準備積立金	✓	2,141.23	✓	1,993.00
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		2,568.60		2,469.27
(f) 分配金		300.00		350.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		2,268.60		2,119.27

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。





## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第30期～第31期 (2020. 12. 1～2021. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	60円	0.606%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,871円です。
(投 信 会 社)	(21)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	60	0.610	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

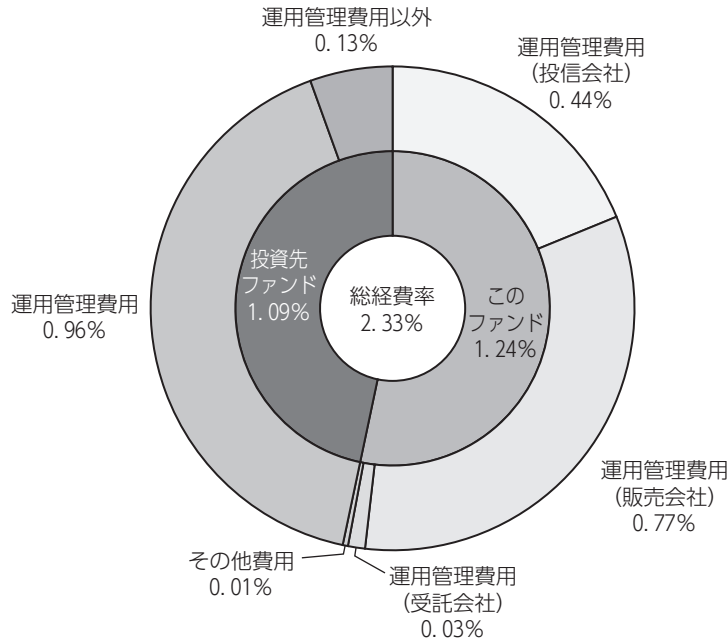
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.33%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.33%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.96%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

決算期	第30期～第31期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 271.92404	千円 27,208	千口 1,480.58452	千円 145,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

第30期～				第31期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円	US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,480.58452	千円 145,000	円 97

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第31期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS	千口 6,912.51635	千円 744,713	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第29期末	第31期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 505	千口 505	千円 506

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年5月28日現在

項目	第31期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 744,713	% 95.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	506	0.1
コール・ローン等、その他	33,353	4.2
投資信託財産総額	778,572	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年3月1日)、(2021年5月28日)現在

項 目	第30期末	第31期末
<b>(A) 資産</b>	<b>744, 804, 253円</b>	<b>778, 572, 732円</b>
コール・ローン等	32, 177, 028	33, 353, 341
投資信託受益証券 (評価額)	712, 120, 820	744, 713, 036
ダイワ・マネースtock・マザーファンド (評価額)	506, 405	506, 355
<b>(B) 負債</b>	<b>24, 654, 424</b>	<b>26, 419, 227</b>
未払収益分配金	22, 423, 674	24, 196, 270
未払解約金	103	—
未払信託報酬	2, 215, 929	2, 193, 663
その他未払費用	14, 718	29, 294
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>720, 149, 829</b>	<b>752, 153, 505</b>
元本	747, 455, 811	691, 322, 009
次期繰越損益金	△ 27, 305, 982	60, 831, 496
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>747, 455, 811口</b>	<b>691, 322, 009口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	9, 635円	10, 880円

\*第29期末における元本額は784, 507, 568円、当作成期間 (第30期~第31期) 中における追加設定元本額は8, 255, 808円、同解約元本額は101, 441, 367円です。

\*第31期末の計算口数当りの純資産額は10, 880円です。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	12, 476, 295円	13, 872, 280円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	19, 467, 650	19, 053, 355
(d) 分配準備積立金	160, 047, 690	137, 780, 510
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	191, 991, 635	170, 706, 145
(f) 分配金	22, 423, 674	24, 196, 270
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	169, 567, 961	146, 509, 875
(h) 受益権総口数	747, 455, 811口	691, 322, 009口

■損益の状況

第30期 自 2020年12月1日 至 2021年3月1日

第31期 自 2021年3月2日 至 2021年5月28日

項 目	第30期	第31期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>12, 750, 234円</b>	<b>14, 150, 088円</b>
受取配当金	12, 750, 691	14, 150, 496
受取利息	25	10
支払利息	△ 482	△ 418
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>91, 096, 161</b>	<b>98, 333, 810</b>
売買益	94, 997, 096	101, 338, 269
売買損	△ 3, 900, 935	△ 3, 004, 459
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 2, 230, 647</b>	<b>△ 2, 208, 254</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>101, 615, 748</b>	<b>110, 275, 644</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 98, 305, 895</b>	<b>△ 17, 545, 008</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 8, 192, 161</b>	<b>△ 7, 702, 870</b>
(配当等相当額)	( 19, 467, 650)	( 19, 053, 355)
(売買損益相当額)	(△ 27, 659, 811)	(△ 26, 756, 225)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 4, 882, 308</b>	<b>85, 027, 766</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 22, 423, 674</b>	<b>△ 24, 196, 270</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 27, 305, 982	60, 831, 496
追加信託差損益金	△ 8, 192, 161	△ 7, 702, 870
(配当等相当額)	( 19, 467, 650)	( 19, 053, 355)
(売買損益相当額)	(△ 27, 659, 811)	(△ 26, 756, 225)
分配準備積立金	150, 100, 311	127, 456, 520
繰越損益金	△ 169, 214, 132	△ 58, 922, 154

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第30期	第31期
	300円	350円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン  
日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／  
米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2021年5月28日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表  
2020年5月29日

<b>資産</b>	
投資資産の評価額（簿価 \$31,309,568）	\$ 34,642,908
現金	12
外国為替先渡取引による評価益	273,667
未収：	
配当	12,735
<b>資産合計</b>	<b>34,929,322</b>
<b>負債</b>	
外国為替先渡取引による評価損	19,365
未払：	
専門家報酬	53,000
運用会社報酬	30,717
会計および管理会社報酬	15,061
保管会社報酬	8,477
名義書換代理人報酬	3,404
登録料	1,108
為替運用会社報酬	854
受託会社報酬	691
為替取引執行会社報酬	621
その他負債	209
<b>負債合計</b>	<b>133,507</b>
<b>純資産</b>	<b>\$ 34,795,815</b>
<b>クラス別純資産</b>	
豪ドル・クラス	\$ 1,054,023
ブラジル・レアル・クラス	1,549,202
通貨セレクト・クラス	6,137,476
日本円・クラス	2,358,752
米ドル・クラス	23,696,362
<b>クラス別純資産合計</b>	<b>\$ 34,795,815</b>

<b>発行済み受益証券口数</b>		
豪ドル・クラス		1,087,874
ブラジル・リアル・クラス		2,894,335
通貨セレクト・クラス		9,855,891
日本円・クラス		1,798,803
米ドル・クラス		16,015,170

<b>受益証券1口当り純資産額</b>		
豪ドル・クラス	\$	0.969
ブラジル・リアル・クラス	\$	0.535
通貨セレクト・クラス	\$	0.623
日本円・クラス	\$	1.311
米ドル・クラス	\$	1.480

### 損益計算書

2020年5月29日に終了した年度

<b>投資収益</b>		
配当収益（源泉税 \$122,450控除後）	\$	285,716
その他収益		17,630
<b>投資収益合計</b>		<u>303,346</u>
<b>費用</b>		
運用会社報酬		239,536
専門家報酬		53,142
会計および管理会社報酬		44,937
保管会社報酬		23,847
受託会社報酬		16,395
為替運用会社報酬		13,079
名義書換代理人報酬		9,030
登録料		1,799
為替取引執行会社報酬		1,370
<b>費用合計</b>		<u>403,135</u>
<b>投資損益</b>		<u>(99,789)</u>
<b>実現損益および評価損益：</b>		
<b>実現損益：</b>		
証券投資		1,848,628
外国為替取引および外国為替先渡取引		(924,214)
<b>実現損益</b>		<u>924,414</u>
<b>評価損益の変動の内訳：</b>		
証券投資		942,933
外国為替取引および外国為替先渡取引		87,882
<b>評価損益の変動</b>		<u>1,030,815</u>
<b>実現損益および評価損益</b>		<u>1,955,229</u>
<b>運用による純資産の増減</b>	\$	<u>1,855,440</u>



(米ドル建て)

投資明細表  
2020年5月29日

株数	有価証券の明細	対純資産比	評価額
	<b>普通株 (95.8%)</b>		
	<b>英国 (3.2%)</b>		
	<b>ヘルスケア製品 (3.2%)</b>		
20,594	LivaNova PLC		\$ 1,101,573
	<b>英国合計 (簿価 \$1,640,897)</b>		<u>1,101,573</u>
	<b>米国 (92.6%)</b>		
	<b>自動車部品 (3.5%)</b>		
11,445	Lear Corp.		<u>1,213,742</u>
	<b>銀行 (6.2%)</b>		
46,755	Bank of America Corp.		1,127,731
21,850	Citigroup, Inc.		<u>1,046,833</u>
			<u>2,174,564</u>
	<b>バイオテクノロジー (2.9%)</b>		
1,620	Regeneron Pharmaceuticals, Inc.		<u>992,752</u>
	<b>商業サービス (7.6%)</b>		
13,185	ManpowerGroup, Inc.		911,611
6,458	Moody's Corp.		<u>1,726,934</u>
			<u>2,638,545</u>
	<b>総合金融サービス (3.3%)</b>		
31,695	Charles Schwab Corp.		<u>1,138,167</u>
	<b>電機 (5.1%)</b>		
20,000	Agilent Technologies, Inc.		<u>1,762,800</u>
	<b>食品 (3.2%)</b>		
12,600	Post Holdings, Inc.		<u>1,096,956</u>
	<b>ヘルスケア製品 (2.8%)</b>		
46,450	Envista Holdings Corp.		<u>981,953</u>
	<b>ヘルスケアサービス (3.4%)</b>		
11,050	HCA Healthcare, Inc.		<u>1,181,245</u>
	<b>保険 (4.1%)</b>		
47,360	American International Group, Inc.		<u>1,423,642</u>
	<b>インターネット (26.9%)</b>		
2,235	Alphabet, Inc. Class C		3,193,636
1,062	Booking Holdings, Inc.		1,741,064
6,640	Facebook, Inc. Class A		1,494,598
3,545	Netflix, Inc.		1,487,943
71,520	Pinterest, Inc. Class A		<u>1,451,141</u>
			<u>9,368,382</u>
	<b>宿泊施設 (5.5%)</b>		
24,314	Hilton Worldwide Holdings, Inc.		<u>1,928,343</u>
	<b>メディア (7.8%)</b>		
3,464	Charter Communications, Inc. Class A		1,884,416
20,650	Comcast Corp. Class A		<u>817,740</u>
			<u>2,702,156</u>

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型

株数	有価証券の明細	対純資産比	評価額
23,395	石油・ガスサービス (0.8%) National Oilwell Varco, Inc.		291,736
43,445	不動産 (5.5%) CBRE Group, Inc. Class A		1,910,711
7,665	ソフトウェア (4.0%) Workday, Inc. Class A		1,405,991
	米国合計 (簿価 \$28,339,021)		32,211,685
	普通株合計 (簿価 \$29,979,918)		33,313,258
<u>元本</u>	短期運用 (3.8%)		
	英国 (3.8%)		
	定期預金 (3.8%)		
	Barclays Bank		
\$ 1,329,650	0.01% due 2020/6/1		1,329,650
			1,329,650
	英国合計 (簿価 \$1,329,650)		1,329,650
	短期運用合計 (簿価 \$1,329,650)		1,329,650
	投資総額 (簿価 \$31,309,568)	99.6%	\$ 34,642,908
	負債を超過する現金およびその他の資産	0.4%	152,907
	純資産	100.0%	\$ 34,795,815

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

2020年5月29日現在の豪ドル・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
AUD	Citibank N. A.	1,603,053	2020/6/15	USD	1,046,912	\$ 17,206	\$ -	\$ 17,206

2020年5月29日現在のブラジル・リアル・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
BRL	Citibank N. A.	8,488,380	2020/6/15	USD	1,458,261	\$ 104,117	\$ -	\$ 104,117

2020年5月29日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
IDR	Citibank N. A.	12,634,315,312	2020/6/15	USD	850,599	\$ 12,658	\$ -	\$ 12,658
INR	Citibank N. A.	67,942,277	2020/6/15	USD	899,470	-	(2,076)	(2,076)
RON	Citibank N. A.	4,032,557	2020/6/15	USD	906,022	19,717	-	19,717
RUB	Citibank N. A.	60,605,820	2020/6/15	USD	826,391	29,961	-	29,961
TRY	Citibank N. A.	11,858,323	2020/6/15	USD	1,676,255	57,012	-	57,012
ZAR	Citibank N. A.	16,029,769	2020/6/15	USD	875,071	32,996	-	32,996
						\$ 152,344	\$ (2,076)	\$ 150,268

2020年5月29日現在の日本円・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益/(損)
J P Y	Citibank N. A.	252,257,236	2020/6/15	U S D	2,359,136	\$ -	\$ (17,289)	\$ (17,289)

## 通貨の略称

AUD	-	豪ドル
BRL	-	ブラジル・レアル
IDR	-	インドネシア・ルピア
INR	-	インド・ルピー
JPY	-	日本円
RON	-	ルーマニア・レウ
RUB	-	ロシア・ルーブル
TRY	-	トルコ・リラ
USD	-	米ドル
ZAR	-	南アフリカ・ランド

## ダイワ・マネーストック・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド –イーグルアイⅡ– 予想分配金提示型）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第31期の決算日（2021年5月28日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年12月1日～2021年5月28日における主要な売買銘柄はありません。

### ■組入資産明細表

2021年5月28日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

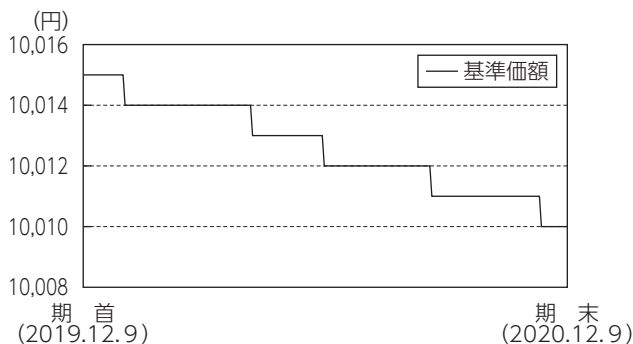
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
(期首)2019年12月9日	円	%	%
	10,015	-	-
12月末	10,015	0.0	-
2020年1月末	10,014	△0.0	-
2月末	10,014	△0.0	-
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	-
5月末	10,013	△0.0	-
6月末	10,012	△0.0	-
7月末	10,012	△0.0	-
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,011	△0.0	-
10月末	10,011	△0.0	-
11月末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	88,460,615	100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

\*期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレニアセット・グロ-バル・グレートコンシューマー株式会社ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアセット・グロ-バル・グレートコンシューマー株式会社ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グロ-バル・グレートコンシューマー株式会社ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアセット・グロ-バル・グレートコンシューマー株式会社ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A+B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C+D+E+F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。